

2022年度人間社会科学研究科入試問題（第1次）

社会学（出題意図及び解答）

（社会創成専攻 人文社会コース一般入試A）

1. 社会学で使われる基本的な用語の知識，社会学理論・学説史に関する知識，社会学の学問的性格に関する理解を問いました。

2. 専門的文献を読むために必要な英語読解力を問いました。

解答例

a) 集合意識が強力な伝統的な社会では，個人は，集団の圧倒的な力の下にある。だから，厳格に定められた道徳的命令からの逸脱は，厳しく罰せられる。分化した近代型の社会が発達していくと，個人の自由はぐんぐん拡張していく。しかし，これが社会からの個人の解放だと考えるのは，基本的な間違いである。反対に，こうした解放は，社会によって生じる，人間の変容というものを前提とする。したがって，「規律」と「自由」の間に内在的な対立は存在しない。すなわち，

前者は、後者の条件である。

b) なるほど、道徳的個人主義の出現と、それに関連する分業という構造的変化は、個人が「社会から引き裂かれる」ということや、個人が社会にもはや依存しないということの意味しない。むしろそれは、「社会的連帯の変容」があること、つまり、個人が「新しいやり方で（社会に）つながる。社会が個人を新しいやり方でとらえ、そうした変化が生じることを望むために…」というようなことを意味するのである。